

# 海老名市立大谷小学校 学校運営協議会 議事録

(令和5年度 第2回)

- 1 日時 令和5年10月30(月) 8:45~12:00
- 2 場所 海老名市立大谷小学校 校長室
- 3 出席委員 石井正雄委員長、藤澤ゆかり委員、今別府潤子委員、桐生行雄委員  
島仲京子校長、小藺洋教頭、山形圭介総括教諭

## 4 会議の内容

### (1) 音楽発表会参観

8:45 から 10:20 まで各学年 1 組の発表を参観。

### (2) 音楽発表会の感想及び大谷小の子どもたちについて

石井委員長：クラスごとの発表で多くの子どもがいろいろな楽器に触れることができる良さがある。一人ひとりの注目度が上がる。

桐生委員：子どもたちの表情から「この日のために」という意気込みが感じられた。先生たちの動き、チームワークが良かった。伝統として続けていく良さを感じた。今日までの練習は見てはいないが子どもたち同士で関わり合いながら頑張ってきたことがうかがえる。

藤澤委員：今年も楽しませてもらった。クラスごとの発表で一人ひとりの良さが見られた。立派な高学年を見て低学年が育っていく。どの子どもみんな楽しんでいたのが良かった。

今別府委員：日々うまくなっていった。保護者目線で見ると各クラスごとの発表はうれしい。

藤澤委員：クラスごとの発表は保護者が自分の子どもに注目しやすいなどの利点はあるが学年で合唱することで自分の子どもだけでなく「大谷小の合唱を楽しむ」ようにしてもよいのでは。

島仲校長：学年での発表は学校でも考えている。来年度は学年の合唱の質を高めていきたい。学年全体で作り上げる良さを子どもに味わわせたい。学年全体で歌う迫力のある合唱を聞いてほしい。などの学校としての教育の目的を示していきたい。

藤澤委員：大谷小の合奏はレベルが高い。さらに質を高めてほしい。

島仲校長：連携したり、協力したりする「見えない力」が大事、行事をそのチャンスにしたい。

藤澤委員：みんなでハーモニーを作るということはイコール社会性を育てることにつながる。聞く力が大切。

山形教諭：発表会以外のことで大谷小の子どもたちのことで何かありますか。

桐生委員：通学路について。グリーンゾーンが見やすくなったり増えたりしてよくなってきているが、不安なところもある。通学路の周辺に整備の行き届いていない民家があり、道路に木の枝がはみ出したりして危険。

今別府委員：子どもたちは登校のときは比較的安全に行っているが、下校のときはそれぞれで帰ってくるため道に広がったりすることがある。その都度声をかけるようにしている。

### (3) 全国学力・学習状況調査の結果について

島仲校長：国語について、「読み取り」はできている。しかしながら読んだ内容をもとに文章を書く問題を無記入の児童が多かった。学力的にできないわけではなく初めからあきらめてしまってる、もしくは100点満点の回答ができないと感じるとチャレンジしない傾向があると思われる。算数でも同様のことが起きていた。

藤澤委員：問題に着手しないということですか？

島仲校長：そういうことです。校内研究で来年度から国語を研究していくので今回の調査の結果も考慮して研究していきたい。生活面においては規則正しい生活が崩れてきている傾向にある。コロナ渦の影響だろうか。家庭の協力を得て立て直していきたい。また、家庭だけでなく地域の協力を得ながらみんな子どもを育てていく姿勢が必要だと感じている。

藤澤委員：保護者が忙しくゆとりをもって、子どもに経験をさせていないのはいいか。「面倒くさい」という子も増えている。

今別府委員：昔は休日に親子で遊ぶ姿が見られたが、今は少ない。自治会、子供会の活動も盛んだった。

藤澤委員：えびなっ子スクールも当初は子どもの居場所作りということで始まったが、保護者も巻き込んでいくとよい。保護者の横のつながりも大事にしていきたい。

石井委員長：えびなっ子スクールの活動を保護者に見てもらおう機会を作ってもよいかもしれない。

島仲校長：生活科、総合的な学習等でも地域とつながり「地域と共に子どもを育てる」体制を作りたい。大谷地区は祭りや大谷歌舞伎、お囃子等地域文化も豊かであり、地域の人、文化に触れて多くのことを学んでほしい。PTAの活動についても見直していかなければならないが、「みんなで育てる」視点を大事にしたい。

桐生委員：運営協議会の構成メンバーについても再考したい。浜田町の委員がいないので加えてもよいのではないかな。

### (4) 次回の日程

第3回の学校運営協議会

2月16日(金) 9:00～ 来年度の学校運営について